

JFPI meeting (4.11.2009)

A demonstration of Sinapse Print Simulators was held at the JFPI (Japanese Federation of Printing Industries) on Nov 4, 2009. About 25 companies and institutions attended included major Japanese printers such as Toppan, Dai Nippon and Kyodo as well as manufactures such as Heidelberg and Quad Tech.

The Sinapse president, Mr Peter Herman, presented both the Sheetfed Simulator (SHOTS) in its new Japanese version (as installed at Toppan) and also presented the Newspaper simulator (not yet in Japanese).

The SHOTS simulator, which sells for approximately 10 000 Euros per license, is one of a product line of press simulators which includes Heatset and Newspaper Offset and packaging simulators for Flexographic and Gravure printing. More than 1600 of these simulators are already installed around the world : the first Japanese installation was at Toppan Printing.

The SHOTS simulator can reproduce hundreds of printing problems and is used to train press operators to recognize and correct problems at lower costs and less time than doing this on the press.

SHOTS was recently used as part of the WorldSkills Competition in Calgary (Toppan Printing won a gold medal) and is expected to be used in the next WorldSkills 2011 in London.

As for all the simulators, SHOTS was developed with a group of 25 printers, suppliers, educational associations and print federations to ensure that the resulting product responded to the needs of each group.

連産印日

訓練ソフトのデモ実施

仏製印刷シミュレータを紹介



ハーマン社長

社団法人日本印刷産業連合会は11月4日午後、印刷シミュレーションソフト「SHOTS」ラ

ンス・Sinapse社製の紹介を日本印刷会館会議室で行った。印刷会社、業界の教育関係機関などから約30名が参加し、社内では馴染みの薄いシミュレーションソフトについて情報収集を行った。

SHOTSは、Sinapse社(http://www.sinaspe.com)が製造・販売を行っている印刷作業のシミュレーションソフト。欧米の職業訓練校や印刷業者、サブライヤーを中心に世界で約1600セットが導入されている。印刷人の教育に活用されている。

製品にはオフセット印刷機、オフセット輪転機(商業用/新聞用)、グラビア輪転機、フレキソ印刷機に対応した5種類がある。価格は、オフセット印刷機(6色)用が約1万ユーロ(1000万円強)。

画面上に、印刷室・印刷機・制御室などを再現し、実機と同様の操作をシミュレーションすることが可能。さまざまなシミュレーションソフトを収録した「オフセット印刷機」のソフトが採用された。2011年のロンドン大会でも正式採用が決まっている。

今回は、Sinapse社のピーター・ハーマン社長の来日に合わせ、デモンストレーションの実施と情報収集を行った。ハーマン社長はSHOTSについて、米英仏中の各国印刷業界団体の協力を得ながら代表的なトラブル項目などをリストアップし開会を進めている。

こと、新人教育/技能の標準化/トラブル解決/品質コントロールに活用されていること、技能継承に役立つこと、実機導入のコストを下げずに技能を身につけられる利点を説明した。

アメリカの大手印刷会社「社ドネリ」社では、約200箇所ある工場のうち4分の1に導入し、トレーニングに活用しているという。社員の技能評価にも使われている。

デモンストレーションは、枚葉機(6色機※画面日本語表示あり)、輪転機(新聞用)の2種類のソフトで実際の操作を体験することが可能である。

参加者の関心は高かったものの、日本語の音声・画面表示への対応、日本の事情にあった柔軟なシミュレーション内容の設定等で課題が感じられた。

SHOTSは、Sinapse社(http://www.sinaspe.com)

製品にはオフセット印刷機、オフセット輪

転機(商業用/新聞用)、グラビア輪転機、フレキソ印刷機に対応した5種類がある。価格は、オフ

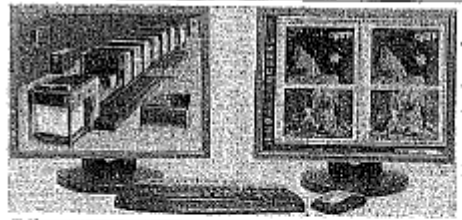
セット印刷機(6色)用が約1万ユーロ(1000万円強)。

画面上に、印刷室・印刷機・制御室などを再現し、実機と同様の操作をシミュレーションすることが可能。さまざまなシミュレーションソフトを収録した「オフ

セット印刷機」のソフトが採用された。2011年のロンドン大会でも正式採用が決まっている。

今回は、Sinapse社のピーター・ハーマン社長の来日に合わせ、デモンストレーションの実施と情報収集を行った。ハーマン社長はSHOTSについて、米英仏中の各国印刷業界団体の協力を

得ながら代表的なトラブル項目などをリストアップし開会を進めている。



こと、新人教育/技能の標準化/トラブル解決/品質コントロールに活用されていること、技能継承に役立つこと、実機導入のコストを下げずに技能を身につけられる利点を説明した。

アメリカの大手印刷会社「社ドネリ」社では、約200箇所ある工場のうち4分の1に導入し、トレーニングに活用しているという。社員の技能評価にも使われている。

デモンストレーションは、枚葉機(6色機※画面日本語表示あり)、輪転機(新聞用)の2種類のソフトで実際の操作を体験することが可能である。